

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2020年第50号(週報・月報合併号)

2020年第50週(12月7日~12月13日)、月報11月

◆◆注目すべき感染症の動向◆◆

—新型コロナウイルス感染症：第50週の新規感染者数は51人。—

令和元年12月以降、中華人民共和国湖北省武漢市において新型コロナウイルスによる患者が複数報告されており、令和2年2月13日に県内在住の人が新型コロナウイルスに感染したことが確認されました。

第50週における新規感染者数は51人(前週：57人)で、第50週までの累積感染者数は554人となっています。県内の発生状況に関する最新情報については、県健康推進課のホームページをご覧ください。

和歌山県における新型コロナウイルス感染症発生状況(県健康推進課HP)：

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/041200/d00203387.html>

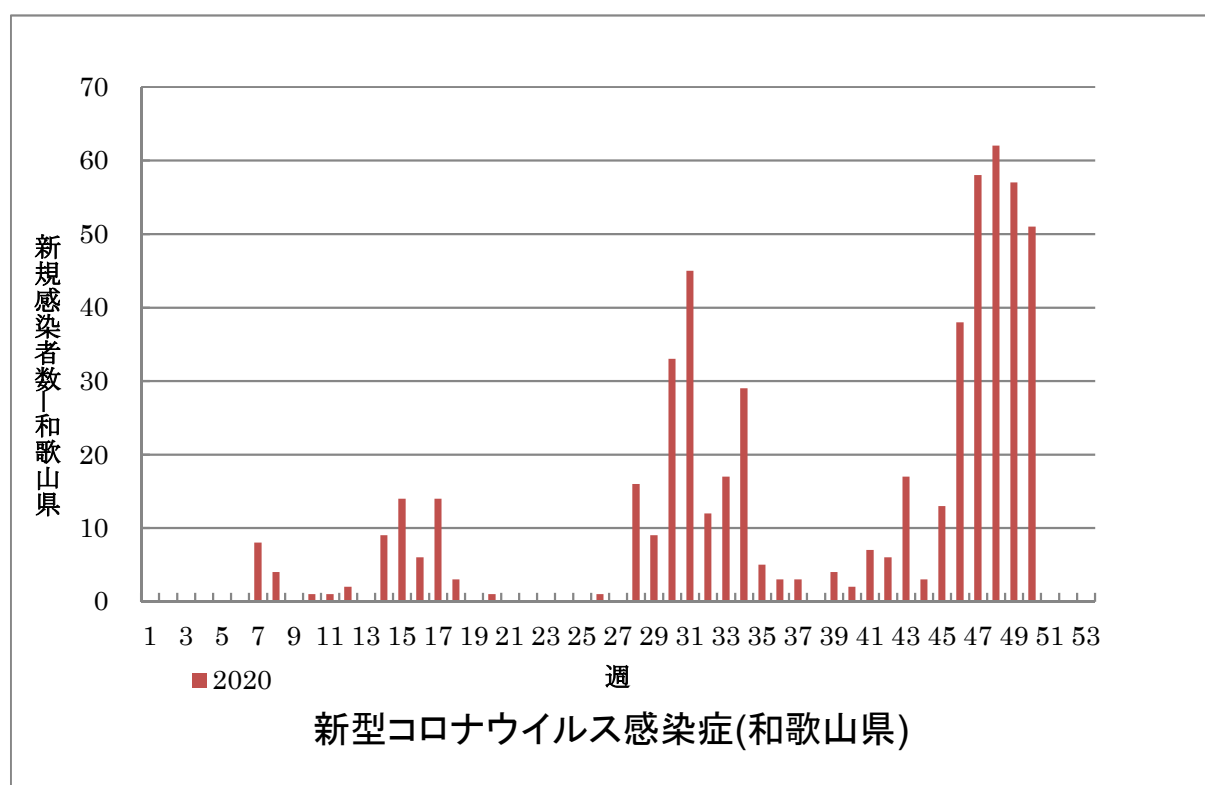
主な感染経路は飛沫感染と接触感染です。石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒などを行い、できる限り混雑した場所を避けてください。また、咳・くしゃみをする際、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえる咳エチケットを心がけましょう。

新型コロナウイルス感染症について(厚生労働省HP)：

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

新型コロナウイルス感染症に関連する情報について(県広報課HP)：

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/000200/covid19.html>



一感染性胃腸炎：県全体の患者報告数は増加。一

感染性胃腸炎は細菌やウイルス等を原因とする下痢、嘔吐を主症状とする感染症です。特に秋から春先にかけて患者報告数が多くなり、この時期はノロウイルスやロタウイルスが主な原因です。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は1.87人（前週：1.53人）と増加しています。

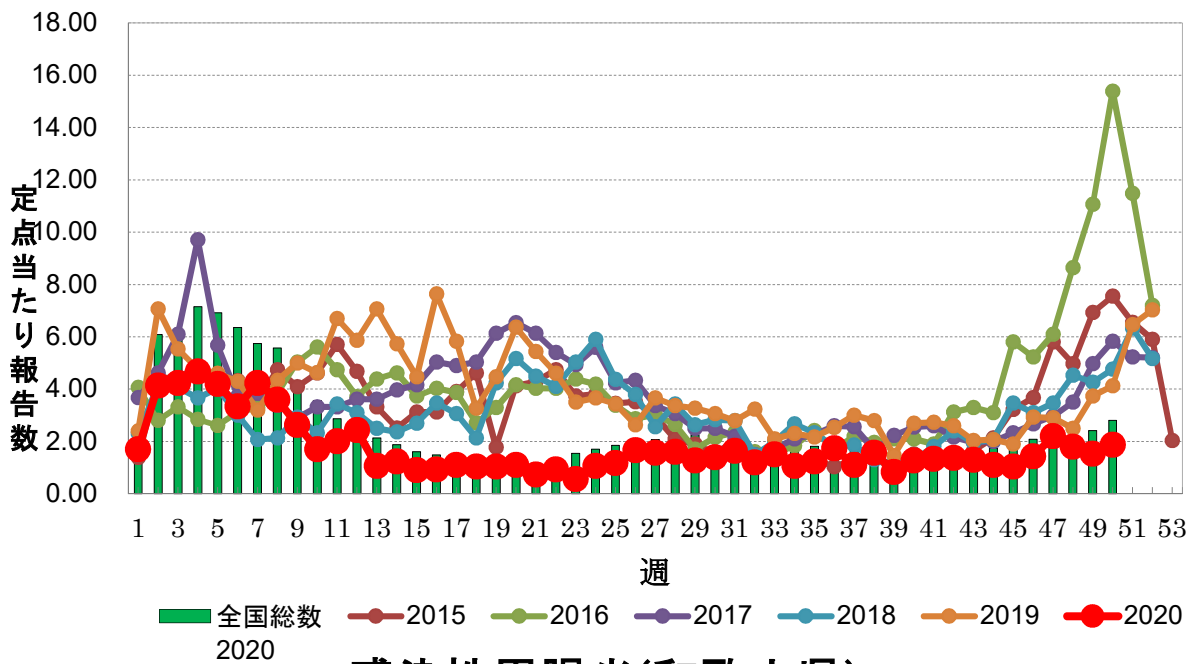
保健所別にみると、和歌山市保健所管内が4.44人（前週：3.56人）と最も多くなっています。

全国的にも患者報告数は2.81人（前週：2.42人）と増加しています。

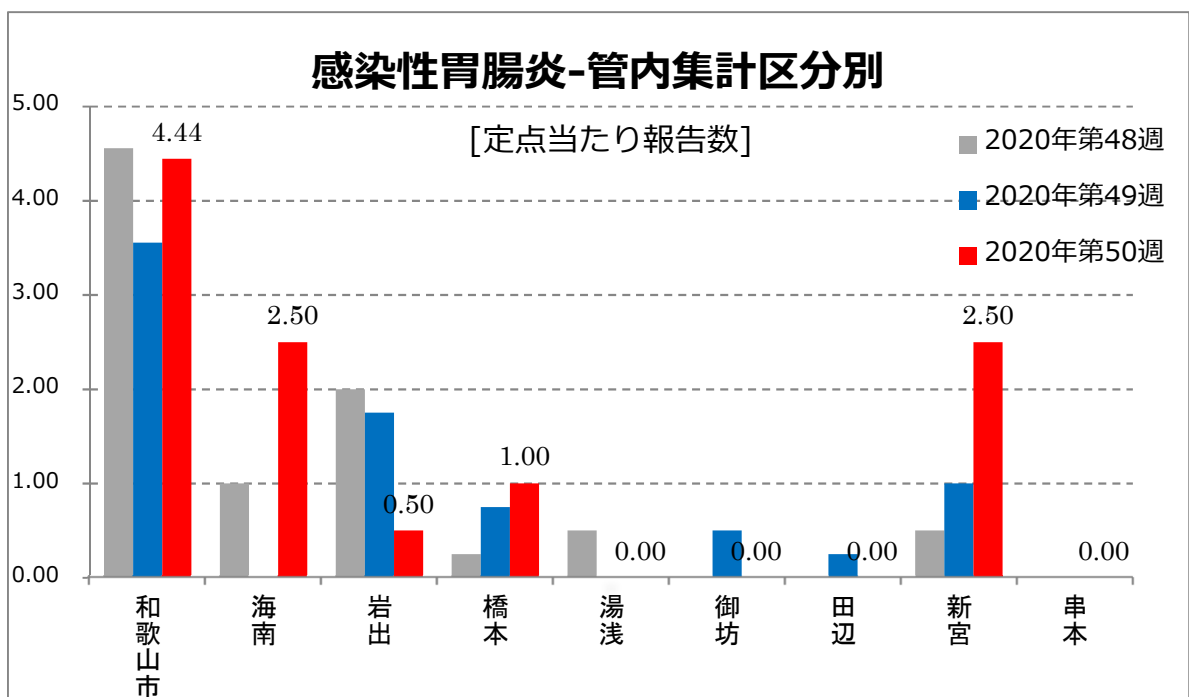
ノロウイルスの感染力は非常に強く、感染経路としては経口感染や患者との接触による接触感染、患者の嘔吐物や便からの飛沫感染等があります。感染予防には手洗いの励行、患者の嘔吐物を処理する際は塩素系漂白剤等を用いて適切な処理をすることが大切です。

感染性胃腸炎の詳しい説明はこちら：(国立感染症研究所HP)

<http://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/383-intestinal-intro.html>



感染性胃腸炎(和歌山県)



定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

(1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1 類感染症：報告はありませんでした。
- 2 類感染症：結核 1名
- 3 類感染症：報告はありませんでした。
- 4 類感染症：つつが虫病 2名
- 5 類感染症：報告はありませんでした。
- 指定感染症：新型コロナウイルス感染症 51名

(2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	135
腸管出血性大腸菌感染症	26
重症熱性血小板減少症候群	4
つつが虫病	8
日本紅斑熱	28
日本脳炎	2
レジオネラ症	15
レプトスピラ症	1
アメーバ赤痢	1
ウイルス性肝炎	1
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	11
急性脳炎	1
クロイツフェルト・ヤコブ病	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10
後天性免疫不全症候群	2
侵襲性インフルエンザ菌感染症	3
侵襲性肺炎球菌感染症	9
水痘（入院例）	4
梅毒	18
播種性クリプトコックス症	2
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	13
百日咳	34
新型コロナウイルス感染症	554

◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

ありません。

注意報レベル

ありません。

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	4	1	-	1	-	-	-	-	-
	定当	0.44	0.5	-	0.25	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	14	1	2	1	-	1	1	3	-
	定当	1.56	0.5	0.5	0.25	-	0.5	0.25	1.5	-
感染性胃腸炎	報告	40	5	2	4	-	-	-	5	-
	定当	4.44	2.5	0.5	1	-	-	-	2.5	-
水痘	報告	1	-	-	-	1	-	-	-	-
	定当	0.11	-	-	-	0.5	-	-	-	-
手足口病	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告	6	1	2	-	-	-	-	-	-
	定当	0.67	0.5	0.5	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	0.5	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	2	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	0.67	…	-	-	-	-	-	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…

<院内感染症の動向>

11月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が2.45人(先月:2.18人)となっています。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症で患者報告数が最も多い年齢階級層は70歳以上で、全体の約70%となっています。

【11月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	5	1	19
	定当	2.45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.18	-	-	0.45	0.09	1.73
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定当	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

和歌山県感染症報告(WIDR) 2020年第50号

発行日: 令和2年12月17日

発行元: 和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/idsw/d00153659.html>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2657

E-mail e0412003@pref.wakayama.lg.jp

このWIDRは感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。